



輪になってダンス
(遠山小学校)

新しい仲間と力を合わせて

秋の運動会

9月は運動会の季節です。市内の小中学校で運動会や体育祭が行われる中、本年度開校した下総みどり学園で9月13日に体育祭が、東小学校と統合された遠山小学校で運動会が行われました。小中一貫教育校である下総みどり学園では、1～9年生の全学年で構成されたチームで競う8の字跳びなど学年を越えた競技も行われ、児童・生徒が力を合わせました。遠山小学校では、親子で一緒に踊るダンスが行われ、保護者は子どもの成長を間近で感じていました。



全員で何回跳べるかな(下総みどり学園)

取組ごとに拍手喝采

小学生相撲大会

市内の小学生82人が参加し「小学生相撲大会」が9月15日、市相撲場で行われました。低学年力士のかわいらしい取組には、観客は顔をほころばせ、和やかな雰囲気。一方高学年力士ともなると、大相撲をほうふつとさせる力強い取組に観客も力が入り、会場は熱気に包まれました。各種目の優勝チーム・力士は次の通りです(敬称略)。

団体戦 加良部A

個人戦

1年生	おんだ 恩田	ゆうき 優希(加良部小)
2年生	いたはし 板橋	ゆうき 勇希(加良部小)
3年生	あかし 赤地	りょうすけ 良介(加良部小)
4年生	いしかわ 石川	あきくに 晃地(成田小)
5年生	きし 岸	こうのすけ 幸之介(加良部小)
6年生	やすはら 安原	たける 毅流(成田小)



こんしん 渾身の上手投げ

市長賞を受賞した清水さん

市長賞に清水咲羽さん

統計グラフコンクール

「成田市統計グラフコンクール」に、市内の小中学生・高校生から47点の作品が寄せられ、特別賞4点・入選20点が選ばれました。応募作品は、県統計グラフコンクールに出品されました。

特別賞受賞者(敬称略)

市長賞	しみず 清水	さきは 咲羽(新山小6年)
議長賞	あはさき 阿波寄	りょう 亮(成田高校付属中3年)
教育長賞	いちばら 市原	まよ 万誉(中台小4年)
統計研究会長賞	かわはら 川原	ひいな 雛(遠山中3年)



皆でボールをつないで

新しいスポーツを考案

うなバレー大会

市スポーツ推進委員連絡協議会では、ミニバレーボールをアレンジした新しいスポーツ「うなバレー」を考案しました。うなバレーは、うなりくんが描かれた柔らかいビニールボールを使い、1チーム5人編成でバドミントンのコートで行うもので、相手コートに3～5回で返す、サーブはアンダーサーブのみなど、初心者でもラリーを続けやすいルールです。普及を図るために、「うなバレー大会」が9月20日、市体育館で行われ、参加者たちはラリーの楽しさを満喫しました。

笑顔あふれ 特別な日に

地区敬老会

市内の70歳以上の人を招待して、各地区で敬老会が開催されています。豊住地区ではすでに6月に行われ、そのほかの地区では9～11月に地区の社会福祉協議会が趣向を凝らして開催しています。9月15日現在で市内の70歳以上の方は1万8,001人。市の人口の約13.7%に当たります。9月21日に保健福祉館で行われた「吾妻・はなのき台地区敬老会」には、784人が招待されました。吾妻小学校児童によるコーラスの発表では童謡など馴染みの歌が披露され、会場いっぱいに響く子どもたちの元気な歌声に参加者は懐かしそうに口ずさんで笑顔で聴き入っていました。



子どもたちの元気なコーラスの発表



昔懐かしいチンドン屋さんも登場



元全日本代表・大山加奈選手の強烈なスパイク(15日)



参加者の質疑に具体的なアドバイスを(14日)

往年の名選手たちと交流

はつらつママさんバレーボールin成田

市制施行60周年記念事業の1つとしてバレーボール元全日本代表選手で結成されたドリームチームと触れ合う「はつらつママさんバレーボールin成田」が9月14日・15日、市体育館で開催されました。14日は大古誠司選手、広瀬美代子選手、山下美弥子選手のドリームチームメンバー3人を指導者に「バレーボール指導者クリニック」が行われました。地域でバレーボールの指導をしている人など89人が参加し、日ごろの練習方法やチーム

の雰囲気づくり、特に声を切らずに練習するなどのアドバイスを受けて参加者は「今後の練習にすぐに生かしたい」と話していました。15日には親善試合が行われ、ドリームチームと市選抜3チームが対戦。1セット15点の2セットマッチが行われましたが、市選抜チームはいずれもストレート負け。それでも、憧れの選手と対戦できた上にスパイクやブロックを決めるなど健闘を見せ、試合後はすがすがしい表情を浮かべていました。